

## 公益社団法人愛知県医師会 第28回(定例)理事会議事録

開催日時：平成27年12月17日(木) 午後2時30分～午後4時10分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

### 出席者

会長(代表理事)／柵木充明

副会長(代表理事)／山本楯 伊藤宣夫 横井 隆

理事／市川朝洋 吉田貴 伊藤健一 城義政 大輪芳裕

西山朗 横尾富二 樋口俊寛 伊藤富士子 繁瀬雅明

細川秀一 森孝生 城卓志 野田正治

監事／岩瀬敬紀 可世木成明 榊原一基

代議員会議長／水野和夫

代議員会副議長／川上雅正 杉田洋一

### 欠席者

理事／加藤雅通

議事録作成者 加藤結花

※加藤理事欠席のため、報告4. 報告16.については次回に報告することで了承された。

※日本医師会山本續子理事は午後3時25分来館のため、報告事項1は、報告事項10の後に行った。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者24名(うち理事18名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

### —承認事項—

#### 1. 庶務関係事項について

##### (1)後援並びに共催について

①名古屋骨を守る会(会長 鈴木敦詞：藤田保健衛生大学内分泌代謝内科教授)主催の第26回名古屋骨を守る会講演会[H28.2/27(土)]の後援について

②NPOグリーンタウン呼吸嚥下研究グループ(理事長 井上登太)、第8回呼吸ケアと誤嚥ケア学会(準備委員長 松田孝二郎)主催の第8回呼吸ケアと誤嚥ケア学会

## [H28.3/19(土)・20(日)] の後援について

市川理事より説明され、1-(1)-①～②について一括承認を求め、承認された。

- (2) 第2回母と子のメンタルヘルスフォーラム大会・愛知県産婦人科医会(会長 近藤東臣)主催の「第2回母と子のメンタルヘルスフォーラム」[H28.5/15(日)]の後援について

市川理事より説明され、承認された。

- (3) 愛知県地域医療支援センター運営委員会 地域枠医師赴任等調整部会委員(参与)への就任について

市川理事より説明され、本会の柵木会長の部会委員(参与)への就任が承認された。

## 2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下のNo.1～3 の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について一括承認を求め、承認された。

なお、市川理事より、No.1について、5月に開催される第176回(臨時)代議員会(選挙)にあたり選挙管理委員会が開催されるが、初回のみ担当副会長・理事が出席し、日程、選挙の流れ等について説明をし、2回目以降は関与しないものであると説明された。

| No. | 開催日             | 名称                 | 開催場所      | 担当理事         |
|-----|-----------------|--------------------|-----------|--------------|
| 1   | H28.<br>1/25(月) | 第1回選挙管理委員会         | 5階医師連盟会議室 | 市川理事<br>樋尾理事 |
| 2   | H28.<br>1/25(月) | 地域医療再生に関する多職種連携協議会 | 6階研修室     | 樋口理事<br>野田理事 |
| 3   | H28.<br>2/12(金) | 平成27年度難病講演会        | 栄ガスビル     | 大輪理事<br>加藤理事 |

## 3. 平成27年度小児慢性特定疾病医療費助成制度における指定医研修 [H28.3/13(日)] 開催及び講師料について

大輪理事より説明され、標記研修の開催および講師謝礼は交通費を含め、一律5万円とすることが承認された。

## 4. 公益社団法人愛知県看護協会(愛知県ナースセンター)への情報提供に関する協定書の締結について

大輪理事より説明され、本会の無料職業紹介で求人等の対応をしていたが、看護師等の求職については過去4年間実績がないため、公益社団法人愛知県看護協会(愛知県ナースセンター)と、情報を共有することになり、協定書の締結が承認さ

れた。

## 5. 本会設備投資について

西山理事より説明され、平成 27 年度の設備投資に会員相談窓口システム、マイナンバー管理システム及び外部サーバー構築に伴うソフトウェアを追加することが承認された。

## —協議事項—

### 6. 会員表彰(案)について

市川理事より説明され、平成 28 年 3 月 19 日(土)に行われる第 175 回(臨時)代議員会にて、14 名の先生方の表彰を行うことが承認された。

### 7. 難病研究者表彰(案)について

市川理事より説明され、平成 28 年 3 月 19 日(土)に行われる第 175 回(臨時)代議員会にて、4 名の先生方の表彰を行うことが承認された。

### 8. 「公益社団法人愛知県医師会就業規則」の一部改正及び「特定個人情報取扱規程」、「公益社団法人愛知県医師会パートタイマー就業規則」の新設(案)について

市川理事より説明され、マイナンバー(個人番号)を本会事務局で取扱うにあたり、これまでの「個人情報保護規程」に加え「特定個人情報取扱規程」の新設及び本会職員の就業規則の一部改正、本会のパートタイマー就業規則の新設について協議の結果、全て承認された。なお、マイナンバー制度の開始に合わせ、施行時期を平成 27 年 10 月 1 日とすることが併せて承認された。

### 9. 給与の見直し、再雇用職員について

市川理事より、報告 6. と共に、理事会の最後に協議すると発言された。

### 10. その他

## 一報告事項一

### 【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

#### 1. 日本医師会理事会報告〔12/15(火)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

(山本(續)日本医師会理事)

日本医師会山本續子理事より、12月15日開催の理事打合会 1. 「専門医制度について」 2. 「「JAHIS 電子版お薬手帳データフォーマット仕様書 Ver. 2.0」について」 3. 「日医生涯教育制度の改革、日医かかりつけ医機能研修制度について」 4. 「医療・介護における改正個人情報保護法に関する最新の動向について」 5. 「日医テレビCMについて」について報告された。

#### 2. 国民医療を守るために総決起大会〔12/9(水)〕について

(日本医師会主催：日比谷公会堂)

柵木会長より、会場が埋め尽くされるほどの参加者があり、多くの国会議員も列席され、盛会裡に終わったと報告された。

また、本会からは、私(柵木会長)、山本副会長、市川理事が参加したと報告された。

#### 3. 日医第7回救急災害医療対策委員会〔12/11(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

城(義)理事より、高齢者の救急医療は地域包括ケアに含まれる救急医療であり、医療統括体制の一環としての救急医療であると説明された。地域包括ケアにおいては、「時々入院、ほぼ在宅」という基本的なコンテキストがあると説明され、高齢者搬送の60%は、1. 肺炎、2. 脳卒中、3. 大腿骨骨折であり、地域の2次救急病院に搬送することにより、救命救急センターの負担は軽減されると報告され、病院前救護の救急救命士のごとく、看護師に地域での特定行為を医療統括の下に担わせることも考える必要があると説明された。

柵木会長より、メディカルコントロールについて、看護師に特定医療行為を拡大させることについては、救急医療に携わる先生方全般の発想に思われるが、日医としてはどのような対応をしているのか質問され、城(義)理事より、救急委員会の委員は救急医療に携わっているため、特定医療行為の拡大に向いているが、あくまで保助看護の範囲内でしかできないと発言された。また、救急救命士が過剰傾向にあり、現状は院外においての活動が大半を占めており、今後の活用を検討していく必要があると説明された。

#### 4. 平成27年度第5回日本医師会医療秘書認定試験委員会〔11/27(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

加藤理事欠席のため、次回報告。

## 5. 日医医事紛争担当理事連絡協議会 [12/10(木)]について (日本医師会主催:日本医師会館)

細川理事より、日医医賠責保険に関する経過及び山口県・山梨県・茨城県医師会における医療事故紛争対策と活動状況に関する報告、最近の医事紛争に関する報告を笠井常任理事から、医療事故調査制度について今村常任理事から説明があったと報告された。また、愛知県からは、①「産科医療補償制度について、損害賠償請求事例が増加傾向にあるのか」、②「愛知県でも3億円を超える損害賠償請求の事案があり、今後、高額な損害賠償(2億円超)の事案が増加することを鑑み、日医医賠責特約保険の上限額の見直し等を考えていいいただきたい」との2点を提出したと報告された。①については、訴訟ベースでは減少している。最近は微増しつつあるが懸念するほどのことはないという回答であった。②については、2億円超の事案は、制度開始から平成27年2月までに12件あったと説明され、今後検討していくとの回答であったと説明された。日医の特約保険は、現在年間2億円を3回まで利用できるが、3億円を2回に見直すことはできないかと提案された。また、保険会社は現在2億円超の商品は考えていないと説明された。

### 【本会関係会議について】

#### 6. 人事委員会 [10/29(木)]について

市川理事より、協議事項9と共に、理事会の最後に協議すると発言された。

#### 7. 広報委員会 [12/9(水)]について

##### (501会議室)

吉田理事より、栄かいわい執筆状況及び校正班分担の確認並びに1/15号以降のトップ原稿の状況について報告された。3/1、3/15号表紙作品について協議し、候補作品を決定したが、4/1号の桜の写真の募集が集まらず、もしあれば応募いただきたいと依頼された。応募作品については、3年の有効期間を過ぎたものについては整理し、広告審査については、3件全ての掲載を了承した。また、会員からの投稿規程に関する修正案について協議したと説明された。

#### 8. 医師会史編集委員会 [12/9(水)]について

##### (501会議室)

吉田理事より、70周年記念誌の構成内容等について資料により協議したと報告された。また、60周年記念誌のコピーを各担当理事に配付するので、内容等を参考に執筆いただくよう依頼された。なお、締切は任期内迄とすると説明された。

#### 9. 保険医協会との懇談会 [12/8(火)]について

##### (5階医師連盟会議室)

大輪理事より、保険医協会より、医療・社会保障等をめぐる動向、診療報酬審査・指導問題、地方自治問題をめぐる動向、税問題について解説があったと報告

され、本会より、税制改正要望、診療報酬改定等財源の確保、在宅での看取りにおける規制の見直しについて、また中部医連委員総会社保特別委員会分科会、医療事務員講習会に関して資料の解説及び意見交換を行ったと報告された。

#### 10. 地域医療再生に関する多職種連携協議会〔12/7(月)〕について

(5階医師連盟会議室)

樋口理事より、在宅医療(療養)を中心とする今後の課題(現場的・組織的・活用人材の組織的把握)について意見交換を行ったと説明され、次回以降はこれらの実態を踏まえ、各職能団体の対応策や取り組みについて整理を行っていくと報告された。また、平成28年3月で終了する委員会であり、平成28年3月に他職種連携上の問題点等をまとめ、報告書として提出する運びとなっていると説明された。

#### 11. 講演会・研修会等について

柵木会長離席のため、山本副会長より、下記のNo.1～5の本会主催の講習会・研修会等は一括報告とすると発言された。

| No. | 開催日      | 名称                      | 出席者数等 | 担当理事         |
|-----|----------|-------------------------|-------|--------------|
| 1   | 12/8(火)  | 医療安全に関する講演会             | 200名  | 細川理事<br>森理事  |
| 2   | 12/10(木) | 健康教育講座                  | 126名  | 吉田理事<br>瀬瀬理事 |
| 3   | 12/12(土) | 平成27年度認知症サポート医フォローアップ研修 | 49名   | 野田理事<br>樋口理事 |
| 4   | 12/13(日) | かかりつけ医等心の健康対応力向上研修会     | 44名   | 西山理事<br>市川理事 |
| 5   | 12/14(月) | 産業医研修会                  | 81名   | 西山理事<br>市川理事 |

#### 【行政、その他関係団体等会議について】

#### 12. 医師派遣に係る大学間協議会〔12/11(金)〕について

(愛知県主催：自治センター)

柵木会長より、地域医療再生等基金を使用し医師数が不足している公立病院に対し、医師派遣の結果を報告された。平成22年と平成27年を比較し、高度救命救急医療機関、有識者会議で位置付けられた医療機関、医療圏別の各医師数等の推移については全般に増加しているが、小児外科が1名増えたのみで懸念を抱いていると説明された。

#### 13. 支払基金幹事会〔12/9(水)〕について

(支払基金主催：支払基金)

伊藤副会長より、資料に沿って説明された。審査実績向上への取り組みとしては、全国でコンピュータチェックをかけるのは 55~56%程度であるが、愛知県で 70%程度が対象とされており、平成 27 年度の再審査定割合の目標値は 14.2%であるが、目標値を決めるることはいかがかと思うと説明された。

**14. 平成 27 年度愛知県名古屋飛行場緊急計画連絡協議会 第 3 回担当者会議(事後検討会) [12/8(火)]について**

(愛知県地域振興部主催：県営名古屋空港事務所)

城(義)理事より、11月 5 日に行われた総合訓練を参加機関のアンケートをもとに検証したと説明された。従来は、県医師会の救急委員会メンバーが中心で指揮を執っていたが、今回は地区のメディカルマンダーが救急指揮所において活動され、全体を把握することができ、消防との連携、各テントの医療スタッフの過不足の調整がしやすかったと報告された。実際は県医師会の救急委員会メンバーが出向いて指揮を執ることは非現実的であるため、良い経験であったと報告された。また、救護活動トリアージでは、緊急群では 2 人オーバートリアージ、準緊急群では 7 人アンダートリアージであり、今後の研修が必要と思われると説明された。

**15. 刑事施設の医療に関する協議会 [12/11(金)]について**

(名古屋拘置所主催：名古屋拘置所)

細川理事より、年 1 回開催される会議で、現在の名古屋拘置所の医療に関する概況説明、並びに医療機関の矯正医療に関する要望等が話し合われたと報告された。留置人に対しての保険診療は認められておらず、C 型肝炎等の治療についても県費での支出となり、請求されるままに処方箋を出すことに対して矛盾を覚えると説明された。野田理事より、人権擁護上、拒否できないと発言された。

**【病診連携・地域医療支援病院関係会議について】**

**16. 平成 27 年度第 3 回名古屋掖済会病院地域医療支援病院運営委員会 [12/10(木)]について**

(名古屋掖済会病院主催：名古屋掖済会病院)

加藤理事欠席のため、次回報告。

**【その他事項について】**

**17. その他**

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成27年12月17日